



クラブ 会報

CLUB BULLETIN (WEEKLY)

鶴岡ロータリークラブ

TSURUOKA ROTARY CLUB

D-253

創立 S 34.6.9

承認 S 34.6.27

例会場	鶴岡市馬場町	物産館3階ホール
例会日	毎週火曜日	12:30-13:30
事務所	鶴岡市馬場町	商工会議所内
	電話	0235 225775

会長	三井	健助
幹事	山口	篤之郎
会報委員	新藤	光一郎
	鷲田	幸雄
	安藤	定助
	岸	光吉

No., 994

1979.2.13 (火) (晴) No.31

ウィンター紹介

旅河正美君	弁護士	藤沢R.C	
本間留芳君	食料品販売	温海R.C	
笹本森雄君	ホテル	羽根田正吉君	} 鶴岡西R.C
大川俊一君	海上保険	斎藤吉雄君	
菅原年雄君	建築	長谷川末治君	
		司法書士	
		建築	管材販売

◆ ゲスト紹介

米山奨学生 蔡 慶隆 君

会長・幹事報告

三井 健 君

先程、役員会を開き、来る5月6日鶴岡、鶴岡西クラブ合同で受け入れる英

REACH OUT...

手をさし伸べよう...

国からのG.S.E受け入れについて相談しました。その予定について申し上げますと

5月4日 米沢R.C→温海R.C（温海一泊）

5月5日 酒田R.C（酒田工場地帯、山居倉庫など見学）→遊佐R.C（鳥海ブルーライン、吹浦島海荘一泊）

5月6日 鶴岡・鶴岡西R.C合同受け入れ（羽黒、致道博物館、善宝寺、砂丘試験場など見学）夕方“合同レセプション”鶴岡一泊。

なお、6日の宿泊については、会員宅に分宿させたい。御協力の程をお願いします。

又、来年の春、逆に当方から英国へのG.S.E派遣（約40日間）予定されているが参加希望者は早急にクラブまで申し込まれたい。（3月10日、地区メック）

◆ イニシアル・スピーチ

「出しゃばり女房」

宮沢健造君

サラリーマンの女房には、およそ、3つのタイプがあるようです。

第1のタイプは、自己中心型のもので、これは、とくに戦後派に多いとされ、すべてを自分中心に考える。例えば家計のやり繰りが巧いかなと、自分の不手際は棚に上げ、すべてを、主人の無能のせいにする。これは、駄目女房の典型で、主人のコントロール、あるいは教育宜しきを得ないと、やがて主人までを駄目にするタイプです。

第2のタイプは、「内助の功」型の人で、戦前派、あるいは、戦中派に、こういったタイプの人が多いとされています。言葉を換えて云うと、夫唱婦随型で、会社のことは、もっぱら、主人まかせ「給料が少ないな」と思っても、その範囲内で、家計を切り盛りし、主人に心配をかけまいとする。良妻賢母とは正にこういう人のことを云うんだそうです。

もちろん、子供の教育、特に、躾がしっかりしているので、子供のことで、他人様にとやかく、云われることはない。

このタイプの人は家族で外食するより家庭料理に力点を置き、外で食事をしようとして云っても、値段表を見てびっくりし「馬鹿らしいから、肉を買って、家でスキヤキを喰べましょう」という、つつましかさを持っているわけです。

第3のタイプは、社交型の人で、このタイプは、戦前、戦中、戦後、いずれの世代にも見受けられるそうです。

したがって、それぞれの育った世代により、多少、生活意識は異なっているわけですが、社交好きであることと裏腹に、主人のこと、子供のことを自慢する。昔は、こういった人たちを「ごあます夫人」と呼んだようです。

子供の小学校のPTA、高校、大学の同窓会には、よく顔を出し、役員などを務める一方、教育ママに一変する。

こういう家庭に限って、有名高一国立大——一流企業を目指し、子供を叱咤激励するわけです。もちろん、叱咤激励するのは、子供だけでなく、主人でもある。

主人が一寸、出世戦線で立ち遅れたりすると、厭味の一つ、二つは当然のこと、順調に行っているときでも、せせせと、何とか通いをし、一層の昇進

を頼みこむ。もちろん、何々してくれとは云わないが「宜しく御願います」の連発である。

しかし、私に云わせれば、第1、第3のタイプはやりすぎだし、サラリーマンの女房としては失格ではなからうかと思えます。つまるところ第2のタイプ「内助の功型」がよろしいようであります。

R.C 入会雑感

秋野 忠君

R.Cに入会して1ヶ月、その感想を申し上げます。かねがねR.Cとは、ひまとお金のある人々の集まりだと思ってましたが、はからずも新穂さんに推せんされ、えらいところに入りこんだものだなあと考えてます。

初めの例会でR.C規約を渡され一応目をとおしましたが、青年会議所の規約に比べれば実に細かく、これを全部満たさなければ立派なロータリアンの資格がないのかなあと、いささか脅威を感じたものでした。

さらに脱会するには自分の商売が駄目になった時でなければ出来ないとあって、いよいよ大変なことになったと感じ入った次第です。

又、青年会議所9年在籍し、その空気が身にしみている私としては、最初例会の食事だけに終わるクラブなら大した意味のない集まりであると思われたし、ただ初めての例会出席途中に耳にした斎藤得四郎さんの「ロータリーに来るのが楽しみの一」の一言に、普段、親しく話し合う機会のない人々と話し合う、聞き合えるこの会合の中にメリットがあるのかや知れないと思うようにもなった。

それからR.Cには各委員会があり、それぞれ活動しているが、坐っていれば用のたつようなクラブ活動にはまだ十分な感動が湧いてこない。

青年会議所はボランティアの団体であり「地域社会を明るくゆたかにする」という大義名分のもとに自分の手で、自分の体を動かすことで活動してきたものにとっては大変物足りなく感じた次第です。

ロータリークラブに入会して1ヶ月、真のロータリアンとはどういうものか、私は私なりにこれから模索していきたいと思っています。

入会雑感

阿蘇司朗君

入会してまずこまったなあと思ったことは、週一回の例会に出席するということです。

私のように第一線で仕事をしているものにとって、この時間は客と話し合っている時間です。しかし、例会に出席するのも自己修練の一つとして努力していきたい。

私は青年会議所に8年在籍しました。1972年の全国の会頭で小野さんという人がいました。この人は大変に話上手で人をひきつけることが上手な人でした。

私がある人になぜ貴方はスピーチがうまいか、話の種がないときどうするのか、と聞いたことがあった。彼は、種がない時は会場にギリギリの時間に行かず必ず30分前までに行くことにしている。30分前にその会場に入ると、会場には必ず友人知己がおって、そこに話の種が生れてくる。まあこういったお話で

あった。

私は、今日のスピーチを前にして1時間前にきたのだが、ロータリー例会1時間前では誰もいなかった。

又この小野会頭はよく人間関係を大切にしてください。彼は遭う人遭う人に握手をする人であったが全く知らない人とも握手するという事は、むずかしいことと思われるが、商売でも、ロータリーでも人間関係が大切であると思うので、今後こうした面も一層努力してまいりたいと思っています。

委員会報告

20周年記念行事特別委員長 佐藤 忠君

◎20周年記念行事（中間報告）

1. 期日・日程 昭和54年4月22日（日）
登録 10:30 ~ 11:00
式典 11:00 ~ 12:20
祝宴 12:50 ~ 14:30
2. 会場 第1部 式典 産業会館ホール
第2部 荘内神社参集殿
3. 記念事業 友愛の泉 除幕式
記念誌（B5版80頁）
3月15日完成 記念日に配布
4. 姉妹クラブ鹿児島西R.C、台中港区R.Cの会員との懇親会
（式典終了後別会場で）

出席報告

出席委員会

本日の出席	会員数	72名	欠	早坂(源)君、五十嵐君、市川君、玉城君、高橋(耕)君、中村君、中野(重)君、斎藤(利)君、佐藤(昇)君、佐藤(正)君、笹原君、高橋(良)君、金沢君
	出席数	59名	席	
	出席率	81.94%	者	
前回の出席	前回出席率	76.39%	メア	黒谷君一温海R.C 安藤君、五十嵐君、風間君、三井(賢)君、三井(健)君、中村君、中野(清)君、佐藤(衛)君、佐藤(友)君一鶴岡西R.C
	修正出席数	65名	1ツ	
	確定出席率	90.28%	クラブ	